

高知県介護福祉士会広報誌 -第10号-

発行 高知県介護福祉士会

編集 広報委員会

事務局 〒780-8567

高知市朝倉戊 375-1

高知県社会福祉協議会内

TEL 088-844-9271

FAX 088-844-9443

URL <http://kaigo-kochi.jp/>



喜怒哀楽



企画委員会よりお知らせ

副会長 兼 企画委員長 吉永 沙織

物詩よさこい祭りも終わり、この会報が皆様の下に届く頃には、高知の夏の風物詩ではないでしょうか？

企画委員会では、昨年より【介護指導・相談会】【福祉用具展示会】を九月に同時開催しており、今年度も九月十日(土)に、ふくし交流プラザ三階、介護研修室、介護研修室前フロアで開催いたします。今回は二回目の開催となり、より一層、皆様にお立ち寄りいただきやすいように無料で「食事・排泄・口腔ケア・移動」についてのリレー講義を実施いたします。また、同じく無料講演として当会特別顧問・理事の杉本麗子氏による「今、介護福祉士に求められることとは？」と、理事・藤本康子氏による「医療施設で働く介護福祉士の役割」を行います。来年度には第五期介護報酬改訂・制度改正があり、その中には「介護職員等によるたんの吸引等」も開始される予定です。その様な情勢の中、今、私たち介護福祉士に何が求められているのか？ どういった役割を担っているのか。その要望にどこまで応えていけるのか、少し一緒に話を聴き、考えてみませんか？

企画委員会では、会員数増加のために、啓発活動も行っております。皆様のご入会、ご協力によって、現在正会員が五百四十八名、賛助会員が四十名の、計五百八十八名(平成二十三年八月末)の会員数となっております。会員数も大幅に増えてきております。今後も研修会、イベント、その他いろいろなど、入会していただけたらと思っております。少しでも多くの方に賛同いただき、入会していただけたらと思っております。少しでも多くの方に入会を悩んでおられる方が居ましたら、ぜひお声を掛けてください。少しでも多くの会員様の声を聴き、当会の活動をよりよいものにしていきたく思いますので、よろしく願っています。

最後に、少し先の話になりますが、十一月五日(土)県民文化ホール(グリーン・六日(日)中央公園で、「こうち介護フェア2011」が開催され、昨年同様、高知県と高知県介護・福祉人材確保推進協議会共催のもと、高知県介護福祉士会も同会メンバーの一員として参画し、主催いたしますので、ぜひお立ち寄りください。

介護・福祉用具の販売・レンタルの事なら、お任せ下さい！

篠原化学薬品株式会社

TEL 088-882-5000

シルバー事業部

高知市南御座9-41 (展示場)

<http://www.shinoharakagaku.jp>



マイチルトMH-4R



電動リフト リコライト

バリエーションについて学びました！



講師の岩村和子氏

認知症高齢者は増加の一途をたどり、認知症介護の重要性が益々高まる中で、私たち介護福祉士はより一層の援助技術を高めていかなければなりません。本会では、認知症高齢者とのコミュニケーション方法としてバリエーションの研修を開催しました。

五月二十九日、公認バリエーション協会の認定バリエーション・ティーチャーである岩村和子氏（きのこ老人保健施設・介護職員）を講師に迎え、ご講演いただきました。

バリエーションとは、アメリカのソーシャルワーカー、ナオミ・フェイル氏によって開発されたもので、認知症高齢者の方々に対して、尊敬と共感を持つて関わることを基本としてコミュニケーションを図る方法です。認知や見当識の状態をよくすることや認知症の症状を改善する事を目的とはせず、死が訪れる前にやり残した仕事を片付けてしまおうと一生懸命奮闘しているお年寄りを認め受け入れ、尊敬と共感をもって関わることを基本としています。

講師である岩村氏も、介護職員として従事されており、鍵のかかる施設の中で「異食があるから」とテーブルに花一つ置けない環境です。これらのお年寄りの生活に違和感を感じたそうです。そして、自身のお父様が認知症の状態となり介護を経験する中で、バリエーションに出会い、学ばれたそうです。

講義では、バリエーションの原則をご自身の経験を交えて話して頂きました。講義の中で先生自ら認知症のお年寄りになりきり、日頃の介護者とのやりとりの実演もありました。そのリアルなやりとりは、本当に現場の仕事の中でよく出会う場面でした。講義を聴く中で、私自身も日々の自分の仕事の中で関わるお年寄りとお年寄りとのやりとりが、ああそうだったのか…と振り返り、学ぶ事が沢山ありました。

後半の講義では、受講生二人でペアになり、共感と同情の会話を試してみたり、視線を合わせず会話をしてみたり、実際に自分たちの表情や反応で、どんな気持ちになるのか、演習をしました。机上で学ぶだけでなく、実際他の人と会話をすることで本当の意味でのコミュニケーションをとれることの重要性を学びました。

参加者のアンケートでは、「バリエーションという言葉が初めて聞いた」、「職場に帰ってすぐに実行したい」等の声がかれました。それと同時に「共感の大切さは理解できたし実感もしているが、実際現場に戻ると難しさを感じる事がある」という声も聞かれました。そして「今後もっと深く学びたい」という希望も多くあり、この研修をきっかけとしてより多くの介護福祉士がバリエーションを深く学ぶことができるようになればと思います。（原）



受講生でペアを組んでの演習風景。皆さん、演習を通して感じたことや、気付いたことが沢山あったようですね。

任せて安心!
カーテンの
プロ専門店



採寸・お見積り 無料!!

カーテンスタジオ Do

(有) 高知寝装

香南市野市町西野2044-2 K-1ビル
TEL 0887-57-5321

■営業時間 10:00~18:00

取扱商品

- ◇カーテン
- ◇ブラインド
- ◇ロールスクリーン
- ◇ブリーツスクリーン
- ◇壁紙(クロス工事)



※故障でお困りの方
修理お任せ下さい。

研修会報告② 初任者研修

六月二十五日、二十六日の二日間に渡り、初任者研修会を開催しました。この研修会は、現場での経験がまだ浅い介護職員を対象に現場で必要となる基本的な知識・技術の習得を目的としています。

一日目午前は、龍馬ビジネス専門学校（右）の松村和美先生（右）を講師にお招きし、『介護現場に求められる接遇』について学びました。実際に電話機を用いた電話対応の講習などもあり、現場ですぐに活かせる接遇マナーを、とても楽しく分かりやすく学べる内容となっていました。

午後の佐井会長による『介護福祉士に必要なコミュニケーション技術』の講義では、コミュニケーションに関する様々な技法を学び、グループで事例を検討してロールプレイをしました。皆さん緊張しながらも真剣に取り組みしていました。

二日目は、山中副会長による『介護記録について』の講義です。「読明快、簡潔明瞭な、読みやすく分かりやすい記録とは？」、「援助者としてのアカウンタビリティについて」等、例年よりも更に詳しく説明されました。実際に手紙を書く演習では、受講生からは「普段書いたことがない」という声もある中で、「直筆だと心がこもる」、「暖かみがあって良いと思った」等の感想も聞かれました。

この二日間の研修を通して、参加者アンケートでは殆ど全ての受講生の方が「満足できた」と回答され、「大変勉強になりました」、「もう一度受けたい」等の感想も数多くありました。大変ありがとうございました。今後でもできる限りご要望にお応えできる研修を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。（畑中）



佐井会長によるコミュニケーション技術の講義



コミュニケーション技術の演習では、受講生と本山理事（写真右側）が壇上でロールプレイを実演される場面も



研修会報告③ 介護講座

平成二十一年度から養成教育のカリキュラムも一新したことや厚生労働省から示された求められる介護福祉士像などからも、介護福祉士の質の向上が一層求められるようになりました。そこで、高知県介護福祉士会では新カリキュラムの主軸である「このところからだのしくみ」、「介護」、「人間と社会」の三つの領域から、さらに介護実践の根源となる科目について六回シリーズで介護講座をスタートしました。

六月十八日の第一回目は、南国中央病院副院長の宮本寛氏（右）と、本会副会長の山中による「障害の理解・介護の基本」を、七月三日の第二回目は本会理事たちによる「生活支援技術」〈移乗・移動〉を開催しました（左）。この二回の講座の中で、介護福祉士の資格制度が出来るまでの歴史や資格制度ができて現在に至るまでの歴史、高齢者の疾患について、また、生活支援技術について学ぶ事ができました。

受講後のアンケートでは、「障害の理解では、脳梗塞、脳内出血についての理解や注意点がわかった」、「ボデイメカニクスについて復習することができてよかった」、「長年自己流でやってきた動きを急には変えられそうにないけれど、一つひとつ改善していこうと思えます」などのご意見やご要望・今後学びたいテーマなど、たくさんコメントをいただきました。

介護講座では、全ての講座を通して、介護福祉士としての必要な知識が学べるようになっております。次回は十月十六日に、「生活支援技術」として手話・更衣についての講座を行うこととなっております。特に手話については興味があっても、学べる機会が少ないのではないのでしょうか？興味のある方は、この機会にぜひご受講ください。（鍵山）



(社)日本介護福祉士会賛助会員 高知県介護福祉士会賛助会員

純・日本製

東洋羽毛は誇りを持って「日本製」であることを守り続けます。
なにからなにまで一貫してつくりあげたものを、自分たちの手で皆様にお届けします。



アフターサービスもお任せください！！

羽毛ふとんのクリーニングやリフォームといったアフターサービスも当社で承ります。お気軽にお電話ください。

TUK
東洋羽毛

東洋羽毛中四国販売（株）愛媛営業所
791-1114 松山市井門町21-1
フリーコール 0120-233-107

高知県内の施設・事業所の紹介

医療法人 恕泉会 ピアハウス高知 二十四時間ヘルパーステーションピア

二十四時間ヘルパーステーションピアは平成七年に介護老人保健施設ピアハウス高知に併設して設立されました。

法人名にある『恕泉』は思いやり、慈しみの気持ちがある泉の様にあふれ出ることを意味しています。職員一同その理念をモットーに日々業務にあたっています。

現在十六名の職員のうち介護福祉士は九名おり、事業所加算を算定しています。日頃より職員の資格取得、教育には力を入れています。

介護保険での訪問介護の他、障害者自立支援法での訪問サービスやガイドヘルパーも行っています。

利用者が、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことが出来るように、援助することを目的としたサービスが提供できるよう心掛けています。

☆住所 高知市塚ノ原四43番地

☆電話 088-840-3407



会員さんからのコメント

介護福祉士になって

私は今年の春に専門学校を卒業し、介護福祉士として特別養護老人ホーム コスモスの里で仕事をしています。実際の現場では、ご利用者の重度化が進み、自分自身のようにご利用者と関わりを持ちケアを行ってあげたいのか、戸惑いながら職場の先輩に指導を受け、日々の業務を行っています。最近では、仕事にも少しは慣れてきたように思います。

今後、自分自身も介護福祉士として、今まで以上に介護技術や医療知識など多くのことを学んでいかなければならないと思っています。

今年の春、専門学校を卒業後に介護福祉士会に入会しました。今後行われる研修会などに参加して、介護福祉士の先輩方や同じ介護の仕事をしている方からアドバイスをいただき、介護福祉士としての知識の向上を図っていきたく思っています。また、ご利用者により良いサービスの提供ができるように、日々の仕事も頑張っていきたいです。

特別養護老人ホーム

コスモスの里

介護福祉士 堀岡 大地



ふるる ぷりん状介護食

- ・飲み込みが困難な方に
- ・口腔炎症のある方に
- ・リハビリのステップアップに
- ・栄養状態の改善や水分補給に

そふ菜 (右写真)

スプーンでつぶせるやわらかなお惣菜形はそのまま保ちながら、歯茎でつぶせます。見た目にも食欲がわき、『食べる楽しさ』を味わっていただけます。



有限会社アオイコーポレーション

高知県香美市土佐山田町百石町 1-14-9

TEL 0887-52-3563 FAX 0887-52-3766



研修・イベントのお知らせ



日程	内容	講師等	会場	定員
9月10日(土)	第2回 介護指導・相談会・福祉用具展示会	高知県介護福祉士会 他	ふくし交流プラザ	
9月23日(金) 24日(土)	西部地区 介護講座 (生活支援技術について)	高知県介護福祉士会	四万十市社会福祉センター	30名
9月27日(火) 28日(水) 29日(木) 10月8日(土) 10月23日(日)	平成23年度 介護福祉士国家試験 対策講座(全11講座)	高知県立大学社会福祉学部 准教授 西内 章氏 他	ふくし交流プラザ ・ 特別介護老人ホーム ウエルプラザ高知	各 30名
10月13日(木)	第24回介護福祉士 国家試験 全国統一模擬試験 (基礎編)		ふくし交流プラザ	160名
10月16日(日)	第3回 介護講座 (生活支援技術<手話・更衣>)	高知県介護福祉士会	ふくし交流プラザ	30名
11月5日(土) 6日(日)	こうち介護フェア2011		県民文化ホール・ 中央公園	
11月14日(月) 15日(火)	介護福祉士実習指導者講習会 (前半)	高知県介護福祉士会	ふくし交流プラザ	未定
11月18日(金)	第24回介護福祉士 国家試験 全国統一模擬試験 (実力編)		ふくし交流プラザ	160名
11月26日(土)	第2回キャリアアップ支援 研修会(フットケア・メイク)	バイタルフス高知・ 資生堂	ふくし交流プラザ	70名

高知県介護福祉士会では、今後もさまざまな研修会を開催していく予定です。

研修会について、何かご要望等ありましたら、下記のメールアドレスまでお願いいたします。

ccw@kaigo-kochi.jp

編集後記

電力不足のため、電気が求められている一方で、猛暑が続いています。皆さん体調を崩されてはいないでしょうか？

私の周りにも、暑さのために脱水症状を起した方がおられるのを。利用者だけでもなす。介護する人も脱水にはくれぐれも気を付けてください。

さて、広報誌「喜怒哀楽」では、研修のお知らせやキャリアアップ研修会等の研修計画・報告をさせて頂いています。また、職場や会員交流を図っていただけるように、改訂版の誌面を改善し、また、ホームページに充実を図っていきたく、検討を重ねています。

みなさんに毎回来張ついでに、お返事をさせていただきます。

お福れから、高知県介護福祉士会をよろしく願います。(横山)

福祉・高齢者用音楽療法補助具

レクリエーションに最適！
全国の施設で活躍しております

株式会社 第一興商

高知営業所

高知市高埴4番15号

TEL 088-854-9090

音楽プログラム



音楽療法士の指導のもと、対象者に合わせた豊富な選曲仲間と歌って生まれる一体感

体操プログラム



リズムに合わせて自然な運動。運動機能向上やリラックスに有効

映像プログラム



懐かしい映像で心を満たす。いい思い出を振り返り、記憶力を維持